

喬木村の皆様へ

令和4年3月吉日

飯田市役所 リニア推進部 リニア用地課

代替地造成工事に伴う発生土運搬のお知らせ(案)

日頃より、飯田市政に多大なるご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

現在飯田市では、リニア中央新幹線及びその他関連事業に伴う家屋の移転先として、座光寺地区において唐沢宮の前代替地の造成工事を進めております。この工事によって発生する土砂について、下記のとおり、下久堅柿野沢地区の発生土置場まで土砂運搬車輛を通行させていただくことを予定しております。

地元の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。

記

運搬期間: 令和4年4月11日～7月下旬まで(予定)

※ 延べ運搬日数は上記期間のうち、30日程度の予定です

※ 工事の進捗状況により運搬期間が変更となる場合があります。

運搬時間: 8:30～17:00 ※運搬は平日(月～金曜日)に行います。

運搬経路: 裏面のとおり

運搬台数: 1日に最大で40台(片道)

施工業者: (株)トライネット TEL53-3366

担当:片桐・鈴木

その他 : 運搬車両には運転席と荷台に右のような表示を行います。

ご迷惑をおかけした場合には、番号をご連絡いただければ早急に対応いたします。

飯田市代替地整備

10

※ ご不明な点がございましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

お問い合わせ先

飯田市役所リニア推進部リニア用地課 担当:小池・林

TEL. 22-4511(内線)3342

運搬経路図



中央新幹線工事 緊急事態発生時における連絡体制の整備について（案）

■整備する背景

昨年11月には中央新幹線瀬戸トンネル（岐阜県中津川市瀬戸）工事現場で、また翌12月には豊丘村の伊那山地トンネル工事現場で相次いで崩落事故が発生し、JR東海は、事故原因の究明と再発防止策を発表したところである。同時に、既に整備がされていた緊急連絡体制については、具体的な対応を明確化し、より迅速に情報共有ができるよう体制が整備されたところである。

■趣旨と方針

今後、喬木村内の中央新幹線工事が本格化していく中で、上述した背景を基に、JR東海から喬木村に共有された内容については、当委員会の委員に対しても必要な範囲で適時に伝達されることが望ましい。一方で、必要な情報のみを的確に、かつ迅速な速報を図るために、情報の緊急度・事象の重要度に応じて速報の要否を判断し、また委員会が選定する委員にのみ委員会事務局から直接速報することとし、他の委員との情報共有は、次回直近の当委員会の中で報告事項として伝達するものとする。

■連絡を要する事象

【緊急度Ⅰ：緊急度の高い事象】

- ① 村内の工事現場で事故が発生した場合
- ② 村内の工事現場で重傷者が発生した場合
- ③ 自然災害によって村内の工事現場が被災した場合
- ④ その他の事象が村内で発生した場合
 - ・一般の方が巻き込まれた場合（怪我の大小に限らない）
 - ・第三者や周辺へ影響が出る恐れのある場合
 - ・リニアに関連して情報機関等から問合せを受ける可能性がある場合 など

【緊急度Ⅱ：緊急度の高くない事象】

緊急度Ⅰを除く事象のうち、JR東海が連絡を必要と判断するもの

■伝達ルート

【緊急度Ⅰ】

- ・ 1 時間以内を目安に電話連絡により速報
JR東海 → 村長
- ・ 2 時間以内を目安にその時点で把握している内容を電話連絡により第一報
JR東海 → 村担当者 → 村長
→ **別紙 ※ 1**

【緊急度Ⅱ】

- ・ 速やかに電話連絡
JR東海又は鉄道運輸機構 → 村担当者 → 村長
→ **別紙 ※ 2**

【別紙】

No	役職	氏名	委員会 役職	緊急度Ⅰ	緊急度Ⅱ
				※1	※2
1	村長	市瀬 直史		別途	別途
2	村議会議長	後藤 章人		●	○
3	村議会副議長・阿島北リニア対策協議会副会長	中森 高茂			
4	村議会総務産業建設常任委員会委員長	佐藤 文彦			
5	村議会総務産業建設常任委員会副委員長	下平 貢	副委員長	●	○
6	村議会議員	福澤 一成			
7	村議会議員	後藤 澄壽			
8	堰下地権者協議会会長	下岡 幸文			
9	堰下地権者協議会副会長	矢澤 治俊			
10	阿島北リニア対策協議会会長	昼神 二三男		●	○
11	阿島区区長・阿島北リニア対策協議会副会長	仲田 和文	委員長	●	○
12	阿島北リニア対策協議会役員	市瀬 健二			
13	農業委員会会長	勝野 明人			
14	農地利用最適化推進委員	筒井 正明			
15	教育委員会教育長	丸山 貢弘		●	○
16	商工会長	大平 敏一			
17	JAみなみ信州喬木支所支所長	松浦 加代子			
18	交通安全協会会長	桐生 達夫			
19	小川区区長	松澤 一重			
20	伊久間区区長	大原 文男			
21	北自治会長	大澤 高義			
22	町自治会長	松島 昭夫			
23	南自治会長	原 利夫			
24	馬場平自治会長	松島 孝行			
25	北保育園保護者会長	大平 晃義			
26	中央保育園保護者会長	川ノ邊 和樹			
27	第一小学校PTA会長	原 政高			
28	中学校PTA会長	矢澤 直樹			
29	養護学校代表	宮原 俊一			
30	養護学校PTA会長	加藤 裕子			

○：伝達の要否は村で判断し対応

6 役職の方への連絡

■JR東海HPのFAQ項目（R4.1現在）

- ・中央新幹線計画について
- ・車両について
- ・運行・ルートについて
- ・異常時対策について
- ・超電導リニア技術について
- ・列車のご利用について
- ・工事について

■村HPのFAQ項目（案）

・村内の情報周知方法について【HP内リンク含む】

・村内の工事情報はどこで確認できますか

毎月「工事だより」を施工業者が発行し、地域に回覧しているほか、村のHP等にも掲載しています。各種周知方法の一覧を作成しておりますので[こちら](#)からご確認ください。

・工事車両の台数は当日どこかで確認ができますか

R4.1現在は、村内の主要3箇所にごとの最大通行台数（片道）を掲示しています。状況に応じて掲示場所も検討しますが、現在の設置箇所は[こちら](#)からご確認ください。

・工事の進捗状況はHPで確認ができますか

日々の進捗は更新していませんが、定期的に、また工事に動きがあった際には村のHPに写真を掲載していますので、[こちら](#)からご覧ください。

また、JR東海のHPでは村外の工事進捗についても定期的に更新がされていますので、[こちら](#)からご確認ください。

・工事着手までの検討経過について【HP内リンク含む】

・環境影響評価のフローはどうなっていますか

環境影響評価が公告されるまでのフローは[こちら](#)からご確認ください。

・環境影響評価の結果はどこかで確認ができますか

環境影響評価の結果は[こちら](#)からご確認ください。

・工事着手までに、どのような調整や説明がされていますか

村では定期的に、村・長野県・地元役員等・JR東海・JV（施工業者）の5者による連絡会を開催し、今後の工事の進め方や、各所からの要望事項などの共有を図っています。具体的な工事計画については、地元役員さん等と協議したうえで、村が組織する喬木村リア中央新幹線対策委員会と、JR主催による住民向けの懇談会・工事説明会等を開催しています。その後、JR東海から長野県に対し当該工事に係る「環境保全計画書」が提出され、長野県環境影響評価技術委員会にて審議された後、長野県からの助言とこれに対する事業者の対応方針が示され、工事が着手されることとなります。

・工事について【HP内リンク含む】

・一日の工事車両を減らしてほしい

一日の通行台数を減らすと、通行日数が増えることとなります。現在は、一日の通行時間帯やイベント等の時期を考慮して、工事車両による地域への負担が最小限になるよう要望・調整いただいておりますが、作業の効率化等により、総体的な台数減が図られるよう引き続き要望してまいります。

住民からの意見等の公開方法（案）

・日中の工事車両の通行を減らすため、夜間工事や工事車両の通行ができないのですか

夜間工事や車両通行は、かえって沿線住民や工事現場周辺にお住まいの方への騒音に繋がることが懸念されますため、基本的には日中の通行にご理解ください。しかしながら、法令の定めにより深夜時間帯でしか通行できない車両や、通行規制の軽減などの理由で、夜間工事を行うことがあります。その際は、騒音対策などを講じて周辺にお住まいの皆様への負担を最小限に施工されますので、併せてご理解をお願いします。

・コンクリートの打設日に多くの車両が通行しますが、工事現場付近でコンクリート生成すれば運搬距離も短くなるのではないですか

コンクリートプラントから片道約90分以内の距離であれば、コンクリートプラントから生コン車を用いてコンクリートを打つことが基本となります。山間部等、近場にコンクリートプラントが無い場合は、現場にプラントを構築後、セメントや骨材を運搬してコンクリートを作ることがあるとのことです。

・本線工事の現場周辺は住宅が密集しています。工事車両の通行ルートはどうなっていますか

幹線道路からは、基本的には借地させていただき施工ヤード内を通行しますが、ヤードの確保が難しい場所については、公道を利用する場合があります。その際は予め道路管理者及び地域の代表者と協議したうえで、工事説明会等で通行ルートをお示しすることとしております。なお、既にお示ししているルートは「工事だより」からご確認ください。

・工事は本線取得範囲内で実施されると思っていたのですが、計画が変わったのですか

施工業者が決まり、工事計画を検討する中で工事ヤードとして必要な範囲が具体化してまいりました。工事ヤードについてはその都度工事説明会で説明され、地域の皆様へも情報発信が図られています。

・竜東一貫道の歩道が通行止めになる場合、横断歩道をつけられないですか

歩道通行止め箇所の手前にある横断歩道に、う回路の案内看板を設置するなど、極力安全に通行が出来るように対策が講じられます。

・工事車両に掲示しているステッカーは何の表示ですか

リニア工事に伴う発生土運搬車両にはステッカーを掲示しており、「天竜川橋りょうほか新設」工事は、中央新幹線と書かれた黄色のステッカーになります。なお、右上の「N」は長野県、その横の「08」は工事区間（天竜川橋りょうほか新設）、大きな「001」等の数字は車両番号を意味しています。他地区のリニア工事とは極力異なる色を掲示していますので、交通マナーなどお気づきの点がありましたら、『黄色の001の車両』などご指摘いただけますと幸いです。なお、定期的にコンクリート打設日が計画され、その日はコンクリートミキサーが多く通行するため、発生土運搬車両のほか当該ミキサーにも車体にの一部に掲示することとしています。

・本線フードの高さなどはどうなる予定ですか

天竜川上部は高さ3.5mの防音壁、天竜川左岸（喬木村側）から約150mは高さ6.0mの防音壁、さらに約150mは高さ8.0mの緩衝工（防音防災フードにトンネル内の圧力を逃がすための穴が空いている構造）、以東の明かり区間は高さ8.0mの防音防災フードで覆われる計画です。

住民からの意見等の公開方法（案）

・高架橋は地上から何mくらいの高さに建設されますか

本線ルート上の土地が平ではないため、地上からの高さは一律ではありませんが、橋脚の高さは地上から約20～25m、桁部分が約3.5～6m、その上の環境対策工が防音防災フードとした場合に約8mとなるため、地上から上部までの最も高い箇所です約39mとなります。喬木村内ですと、天竜川付近に比べ東方向に向けて地上が高くなる地形のため、地上から上部工までの高さは東に行くほど低くなる予定です。

・大型車両が多く通行することで道路が破損したら修繕してほしい

令和3年8月に喬木村とJR東海とで「中央新幹線建設に伴う喬木村内における工事用車両の通行等に関する確認書」を締結しました。その中で、工事用車両が主たる原因として道路施設を破損等した場合は、道路管理者と協議のうえ早急に復旧に努める事を約束しています。この確認書は[こちら](#)からご確認いただけます。

・トンネル工事中の湧水や、工事後の湧水の処理はどうなりますか

JRでは工事期間中の湧水について、基本的には河川等の公共用水域への放流が考えられていますが、具体的な計画については、関係自治体等と協議の上、安全に放流できる計画となります。
構造物完成後のトンネル湧水は、高架橋の桁内に設ける管路にて天竜川付近まで流下させることが考えられており、流下にあたっては、管路の流量計算を実施し十分な安全を保った上で行われる予定です。

・施工業者は2工区に分かれますが、同じ地域内の工事です。地元の要望や意見等を関係者でしっかり共有し、同じことをそれぞれの施工業者に伝える必要がないよう、調整をお願いします

令和3年度より、村では定期的に関係者を集め情報共有する場を設けているところです。参集は村・長野県・地元役員等、JR東海（用地担当、工事担当）、施工業者（天竜川JV、阿島北高架橋JV）です。用地交渉や工事の進め方などについて、JV間で対応が異なる事の無いよう、引き続きJR東海には要請してまいります。

・多方面にわたっての安心が得られるよう綿密な方法での作業、交通をしてほしい

当村においてもこれまでに無い大きな工事となります。可能な限り先を見据えて、住民にとって安全安心な工事計画になっているか注視し、また地域の要望も併せてJR東海へ繋いでまいります。何かお気づきの点などがございましたら役場までお知らせ頂けると幸いです。

・工事中は周辺への騒音対策はどのようにされますか

工事規模に合わせ、必要以上の建設機械の規格、配置及び稼働とならないように計画することで、騒音の発生を抑制し、必要に応じて施工会社と協力し、騒音を測定することで、適切な対応が講じられるとのことです。

・日照等の補償について【HP内リンク含む】

・高架橋による日影の補償はどのようにされるのですか

「公共施設の設置に起因する日陰により生ずる農作物に対する損害等に係る費用負担について」に基づき、冬至の午前8時から午後4時において、2階部分の日陰時間が5時間を超える場合に、住宅等に補償がされます。また、太陽光発電設備についても、設置状況等を調査したうえで補償内容が決定されます。

住民からの意見等の公開方法（案）

・高架橋の北側に農地がありますが日影による減収が心配です

「公共施設の設置に起因する日陰により生ずる農作物に対する損害等に係る事務処理指針（案）」を踏まえて、出荷される農作物に限り、日照阻害による農業収益の減収に対し30年を限度に金銭補償がされます。

・リニアの車両走行による騒音に対する補償はあるのですか

走行試験開始後に沿線で騒音測定を行い、新幹線鉄道騒音に係る環境基準を超過している家屋に対し、個別家屋対策が行われます。具体的な対策については検討中であるとのこと。

・その他【HP内リンク含む】

・リニアの車両走行により、携帯電話やインターネットへの影響が心配です

高架橋などの鉄道施設の存在によりテレビジョン電場障害が発生する可能性があります。テレビジョン電波障害については、工事前後の電波状況の調査を行った上で、電波状況への影響が確認された場合には、これまでの公共工事と同様、国の補償基準に則って、共同受信施設の設置や、受信施設の移動・改良、ケーブルテレビの活用など、適切に対応されます。

・JR東海が取得した土地の除草などしっかり管理していただきたい

村としても、周辺の住民生活や農地への影響が出ない様、工事中や工事後の除草等管理について適切に実施されるよう注視してまいります。

・施工ヤードとして農地を貸すが、返された後の利用について何か計画がありますか

現在のところ村として何かしらの計画はございません。しかしながら、農業後継者不足や農業従事者の高齢化は現在でも課題になっており、工事（借地）後に返却された際に、どれほどの農地が継続されるかは村としても懸念しているところです。適宜、地権者様や地域の皆様のご意見も伺いながら検討していく必要性はあるものと考えております。

・竜東一貫道路が既に傷んでおり、走行時の騒音等を心配します

竜東一貫道路のうち、阿島自動車学校前交差点から新小川渡橋北交差点までの間は県道251号線で長野県の管理になりますが、これ以外の区間は村道になります。村ではこの村道区間について、数年計画で修繕を行う予定で、具体的な計画は検討中です。

・リニアが走行している姿は地上から見えますか。せっきくの明かり区間なので、外からも走行が見え、乗客からも外の景色が見えると、リニア開業による地方への相乗効果が高まると思います

現在の計画では、明かり区間のうち防音壁の箇所については外の高台からであれば見ることはできるかと思いますが、高台の標高によっては天井部のみしか見えないかもしれません。また、乗客からもほとんど外の風景は見えないことが予想されます。防音壁をアクリル板等の透明な素材に、との要望もいただいておりますが、耐久力や荷重等の問題があり現状の技術では困難であるとのこと。今後のリニア車両の技術開発により、場合によっては防音壁等の高さや厚さについて検討の余地があるかもしれませんので、村としても引き続き要望してまいります。